

サマーセミナー 2026

交流・深化・開拓

☆☆ 特別講演 ☆☆

森 幹男 氏 (福井大学)

☆☆ 若葉研究者の集い ☆☆

開催日：2026年8月24日～25日

会 場：福井市地域交流プラザ（AOSSA 6F） 研修室607

主 催／企 画：一般社団法人映像情報メディア学会 メディア工学研究会

共 催：公益社団法人精密工学会 画像応用技術専門委員会

企画委員会：東海 彰吾（福井大学：企画委員長）

田邊 造（公立諏訪東京理科大学：幹事）

渡邊 修（拓殖大学：幹事）

パトハック サーサク（芝浦工業大学：幹事）

金子 直史（東京電機大学：アドバイザー）

サマーセミナー2026 に寄せて

本サマーセミナーは今年で 35 回目の開催となります。1992 年に精密工学会画像応用技術専門委員会の企画として生まれた本セミナーは、当初「専門委員会運営委員の暑気払いを兼ねた勉強会」として、当時の運営委員の皆様により泊り込みの楽しい勉強会の場を提供していたと伺いました。回数を重ねて若手研究者の育成を目的とした企画「若葉研究者の集い」が併設され、現在に至ります。本セミナーは、学生を中心とした若手研究者の貴重な研究発表の場となり、優秀な発表を表彰することで、若手の研究奨励、および、意欲向上を促進する場となっています。

2004 年からは映像情報メディア学会メディア工学研究会を加えていただき、合同開催も今年で 23 年目を迎えました。従来の合宿形式からコロナ禍のオンライン開催を経て対面での研究会形式に、オーラルプレゼンテーション主体の発表形式からポスタープレゼンテーションを主体として聴講者と発表者がより密なディスカッションを行える形式となり、今回もこのスタイルで実施されます。

今回のサマーセミナーのテーマは「交流・深化・開拓」としました。対面インタラクティブな研究発表と意見交換は、普段の研究室内でのディスカッションと一味違う体験となり、新しい知識の獲得や自分の研究テーマに対する新しい気づきを与えてくれると確信しています。さらに、それぞれの研究テーマは異なりますが、画像・映像処理という分野の中で切磋琢磨する学生同士・研究者同士の交流は、それぞれの研究の刺激となることは間違いありません。また、インタラクティブ発表の効果をさらに上げるため、発表者と聴講者が臆せず意見交換し、聴講者による多くの有意義なコメントを発表者が持ち帰られるよう、以下の形式を継承します。

- ポスター発表の聴講者を少数グループの回覧方式とすることで議論がスムーズに行われる空気感を醸成します。各グループには教員や社会人の聴講者を含め、議論の活性化をはかります。
- 議論に参加し他者の研究発表に対するコメント貢献を合わせて評価するため、発表に対する審査に加え、有意義なコメント・質問がなされた場合に、これを評価（選賞に考慮）します。

特別講演では、音声情報処理の一つとして口笛の研究で著名な、福井大学の森幹男教授をお招きし、「MRI による口笛声道模型の作製と発音原理の解明 ―口笛の音域を 3 オクターブ以上に拡大する方法―」と題してご講演をいただきます。口笛の発音に関する物理的なモデル構築に関するご講演は、皆様の視野を広げ、実現現象をどう捉えるかという工学の基礎的視点を今一度考えるよいきっかけになると確信しております。

今回のサマーセミナーでは 18 件の「若葉発表」が予定されています。参加者の皆様の活発な意見交換と親睦が深まる交流を期待しております。

最後に、本セミナーが参加者の皆様全員にとって有意義で実りある会となるよう心より願っております。

2026 年 8 月 24 日

合同企画委員会を代表して

東海 彰吾（福井大学）

サマーセミナー2026「若葉研究者の集い」

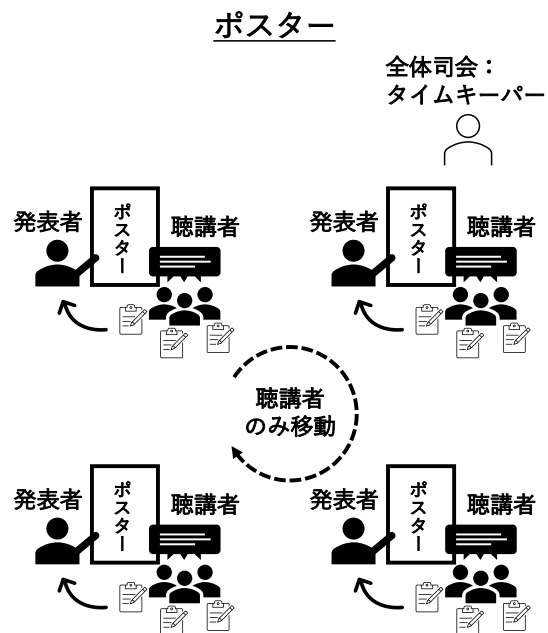
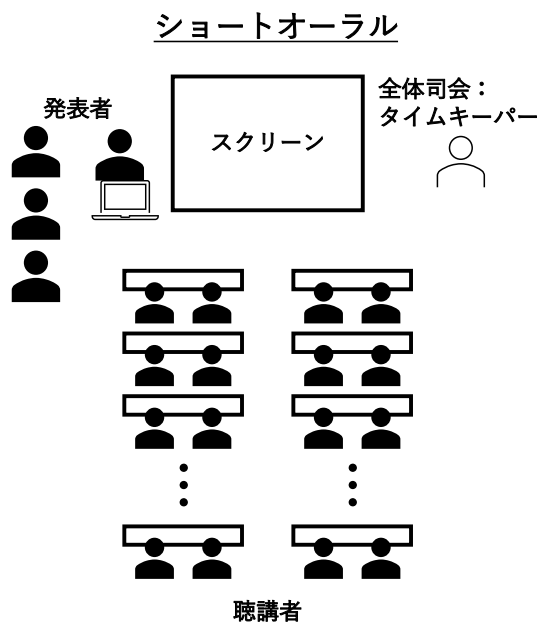
企画委員長 東海彰吾（福井大学）

概要と目的

サマーセミナー2026 は、若手研究者が集まり研究成果を発表し、意見交換を行う場です。学生や企業の研究者が「発表したい!」「参加したい!」と思うような、若手研究者のための対面議論の場を提供します。

セッション概要

- ショートオーラル：1件あたり最大3分
 - 全体に向けたスライド発表を行います。
 - その後のポスター発表にスムーズに移行できるよう、研究の概要や、意見をもらいたいポイント等を含めて発表いただくと効果的です。
- ポスター：1ターン15分議論（含、コメントシート記入）+1分入替（合計16分）
 - 各ブースにて個別にポスターディスカッションを行います。
 - 多くの方と議論できるよう、聴講者は時間制ローテーションしていただきます。
 - ディスカッション開始後13分経過時点で予鈴をならします。聴講者は2分間程度でコメントシートに記入し、発表者に手渡してください。その後、次のブースにご移動ください。



発表者・聴講者インストラクション

発表準備

- 発表には「意見をもらいたい部分」や「困りごと」を含めることを推奨します。聴講者からの具体的なフィードバックを得やすくなります。
- ショートオーラル：
 - スライドを用いて、1件あたり最大3分でご発表ください。
 - 共用PC (Windows) にコピーしますので、データをUSBメモリ等で当日ご持参ください。ファイル形式はPowerPoint (.pptx) またはPDFとしてください。
 - セッション開始前にスライドのチェックをお願いいたします。
 - 会場のプロジェクタの解像度は水平1280画素程度です。
- ポスター：
 - 会場にポスターパネル（幅120cm×高さ180cm）とテープを用意します。
 - A0サイズ（縦）のポスターを貼り付けることが可能です。
- その他：
 - パネル付近にテーブルと電源タップを用意します。
 - ノートPC等を持参いただければ、映像を見せながらの説明も可能です。

当日の進行

1. 各セッション開始時に、全参加者に向けてショートオーラル発表を行います。
2. ポスターを用いた個別のディスカッション（15分間）を行います。
3. ディスカッション13分経過時点で予鈴をならします。聴講者は2分間で「コメントシート」にコメントを記入してください。発表者はシートを受け取ってください。
4. 発表者は、特に有益なコメント・質問がなされた場合に、そのコメントをした参加者に投票してください。
5. 1分間で次のブースに移動し、2. から次のターンを開始します。

聴講方法

- ポスターでは、人数の偏りを防ぐため、巡回ルート（当日配布予定）を指定します。
- 各15分間でディスカッションし、コメントシートに記入して発表者に渡してください。
- 発表者にとって今後の研究活動の参考になるような有益なコメント・質問がなされた場合、これを評価（選賞に考慮）します。

その他

- 暑い時期ですので、当日はカジュアルな格好でお越しください。

以上

『交流・深化・開拓』

1日目：8月24日（月）

若葉研究者の集い（1）

1-1 Transformer を用いた出芽酵母細胞に対する親子関係の推定

○大森 拓仁, 吉田 俊之, 横澤 拓馬, 沖 昌也(福井大学)

1-2 ラベル統合による Open-Vocabulary Semantic Segmentation の高精度化

○清水 諒祐, 斎藤 風都, 伊藤 康一, 青木 孝文(東北大学)

1-3 高周波成分の選択的強調による微小欠陥検出のための PaDiM の改良

○神谷 悠斗, 大田 直輝, 村上 尚生, 平松 直人, 秋月 秀一, 橋本 学(中京大学)

1-4 未知の物体に対して誤って既知のラベルを割り当てない物体認識モデルの研究

ー基盤モデルを用いたフューショットオープンセット認識の課題分析ー

○齊藤 一輝, 鷺見 和彦(青山学院大学)

若葉研究者の集い（2）

2-1 CNN-DFD 法に対する学習条件の改善について

○安藤 佑成, 吉田 俊之(福井大学)

2-2 手の位置姿勢にロバストな掌紋関心領域抽出に関する検討

○荒木 健司, 田中 克樹, 伊藤 康一, 青木 孝文(東北大学)

2-3 グリッパ開き動作によるシーン操作に基づく密集状況における物体把持手法の提案

○山口 大翔, 藤原 圭汰, 秋月 秀一, 橋本 学(中京大学)

2-4 スマートフォン多視点撮影環境における視野集中解析に基づく撮影支援評価の一検討

○土田 智也, 東海 彰吾(福井大学)

若葉研究者の集い（3）

3-1 CNN を用いたシングルマルコフイオンチャンネルモデルに対するパラメータ推定

○岸田 周, 岡田 侑磨, 吉田 俊之, 老木 成稔(福井大学)

3-2 外観検査のための良品イメージの多重分解能化の検討

○山本 隆太, 小平 翔吾, 尾野 裕一朗, 松岡 祐希, 青木 公也(中京大学),
興水 大和(中京大学/YVC ソリューション)

3-3 道路損傷検出に向けた正常路面からの異常度評価

○小池 裕貴, 金子 直史(東京電機大学)

3-4 全方位画像群を用いた NeRF による広域任意視点画像生成の一検討

○尾崎 旭, 東海 彰吾(福井大学)

2日目：8月25日（火）

若葉研究者の集い（4）

4-1 Depth from Iris 法の基礎検討ー絞りを变化させた画像群からの depth 推定ー

○平野 虎弥太, 吉田 俊之(福井大学)

4-2 自動車開発用シミュレータにおける道路標識の劣化表現手法の検討

ー警戒標識の褪色経路生成と汚れ・剥がれを含めた劣化統合システムの検討

○今西 毅英, 清田 純希, 近藤 良樹, 青木 公也(中京大学)

高橋 優太, 水谷 春稀, 永田 拓磨, 野村 侑一朗(トヨタディベロップメント株式会社)

4-3 偏光撮像系による残留部品検出に向けた水滴影響低減の検討

○木村 友亮, 塚田 敏彦(愛知工業大学), 城村 純一, 鴻野 健太郎(石川メッキ工業株式会社)

若葉研究者の集い（5）

5-1 多視点ステレオと画像意味情報を用いた点群セグメンテーションの高精度化

○齋藤 輝, 伊藤 慎太郎, 伊藤 康一, 青木 孝文(東北大学)

5-2 アルミナ焼結体 SEM 画像解析における SAM 適用方法の検討

○関 なのは, 秋庭 祐弥, 村上 昂史, 青木 公也(中京大学)

中島 佑樹, 平尾 喜代司, 福島 学(産業技術総合研究所)

5-3 鶏卵の外形に基づく雌雄推定方法の検

○加藤 大地, 塚田 敏彦(愛知工業大学)

特別講演

MRI による口笛声道模型の作製と発音原理の解明ー口笛の音域を 3 オクターブ以上に拡大する方法ー

森 幹男 氏 (福井大学)

最優秀発表者

おかげさまで、サマーセミナー2026は無事に終了しました。最優秀発表者として、以下の2件を選出いたしました。
おめでとうございます。

2-2 手の位置姿勢にロバストな掌紋関心領域抽出に関する検討

○荒木健司・田中克樹・伊藤康一・青木孝文(東北大)

5-1 多視点ステレオと画像意味情報を用いた点群セグメンテーションの高精度化

○齋藤 輝・伊藤慎太郎・伊藤康一・青木孝文(東北大)